

第132号

こんにちは

みささ議会です

令和5(2023)年

1月号



主な内容

- 町長・議長 新春対談 2~3
- 行政視察報告・議会懇談会..... 4~5
- 常任委員会で慎重審査 6
- 議員5人が一般質問 7~12
- 議案の賛否 13
- 大好きみささ町 14

初詣

(本泉神社)

「町民と共に動く年に」



(左 吉田道明議長、右 松浦弘幸町長)

令和4年を振り返って

司会 新年おめでとうございます。松浦町長は2期2年目を迎えられる、吉田議長も議長に就任されて2年目を迎えられました。はじめに令和4年を振り返ってそれぞれの感想を伺います。

町長 コロナ禍になって3年が経過しいろいろなことが動き出し忙しくなったという印象です。2期目のスタートに掲げたことの土台づくりを進めていった年だったと思っています。

議長 何十年来の懸案であった小学校の新校舎建設が始まったことが本町にとって大きなことだったと思います。また、昨年新春対談でも話しましたが、本町を含む中部への高規格道路の建設に向けて中部1市4町の議長・副議長にも賛同が得られ、それぞれの首長にも報告できたことが印象に残っています。

今年、重点的に取組んでいきたいことは

司会 松浦町政として今年、重点的に取組んでいかれたいことを伺います。

町長 一つ目は、先ほど議長が話された小学校の新校舎建設に合わせて、新校舎が完成するまでに小学校と中学校が連携する仕組みをつくりあげることが大事だと思っています。連携に向けたベースのビジョンはありますが、具体的な取組みについて教育委員会で作業を進めていただくこととなります。

二つ目は、光ケーブルを活用した高齢者の見守り事業です。昨年から実証事業として20世帯に協力していただいております。問題点や改善点を整理したうえで、今年は定着化に向けて取組んでいきたいと考えています。

三つ目は、長年の懸案であった

町民が温泉を使って健康になるための温泉と健康のまちづくり事業です。昨年いろいろな皆さんから意見をいただきながら構想づくりを進めており、今年はこれを形にするため計画をつくりその中で具体的な整備目標も挙げていきたいと思っています。

四つ目は、人材育成の推進です。特に交流をベースに国内交流を進めている京都府城陽市や滋賀県多賀町、国際交流ではフランスのラマルー・レ・バンや台湾の石岡区との交流について若者を中心に再開していきたいと考えています。

新校舎建設に合わせて小中連携を進めていく

司会 新校舎完成までに進める小中連携の仕組みづくりとは。

町長 小中1校ずつなのでこれまでも連携はできていましたが、小中が隣同士になることで連携に必要な設備や環境の整備を進め、さらにソフト面での具体的な取組みをつくり上げていきたいと思っています。

議長 これまでの教育推進において、急に方針が変更になり議会として戸惑ったことがありました。事前に情報提供をして検討・協議しながら進めてほしいと思います。

町長 町の事業の推進にあたり議

会への事前の情報提供や説明は大切なことです。教育環境も時代とともに大きく変化してきており、十分な説明ができるよう進めていきます。



これから進む小学校新校舎建設

温泉を活用した健康まちづくり事業への取り組み

司会 具体的なイメージは。

町長 これからワーキンググループ会議や検討委員会で協議していきますが、施設としては日帰り温泉施設とトレーニング施設を組み合わせたいようなイメージです。町民誰でも利用できるようにし、特に高齢者には筋力低下やフレイル予防のための体力づくりができ、専門家の指導も受けられるようにできればと考えています。

議長 たまわりの湯が閉鎖されることもあり、このような施設は望まれるところだと思います。でき



れば施設は一体化がいいでしょうが、高齢化社会になり高齢者が健康で元気に暮らしていけるためにはどうしていけばいいのか、もっと真剣に考えていく必要があります。

町長 施設を一体化するのか別々にするのか場所や財源など、これから詰めていき議会に提案していきたいと思います。

今年の抱負

司会 令和5年の松浦町長、吉田議長のそれぞれの抱負や思いを伺います。

町長 今年の初めには、「ゼロカーボンシティみささ宣言」を行って積極的に二酸化炭素の排出量実質

ゼロを目指す取組みを進めます。また、コロナ禍の中、物価や燃料の高騰、社会情勢の不安定化など住民の福祉の向上がこれまで以上に求められている気がしています。町民の皆さんが幸せに暮らしていけるよう、行政としてどのような施策を展開していけばいいのか、共に考え行動していく年にしたいと思います。

議長 昨年には三朝温泉を含めた中部圏域への高規格道路の必要性をそれぞれの議長等に説明し賛同を得ているので、今年は是非とも道路建設に向けた中部の議員連盟を立ち上げるべく行動していきたいと考えています。

町長 議員連盟が立ち上がれば行政としては実現に必要な資料作成など役割分担して協力していきます。また、この件に限らず町の重要な案件については、行政と議会がしっかりと協力し県や国にも要望していくことが大切です。



司会

議会広報常任委員会
小椋 泰志委員長

※撮影のためマスクを外しています。

先進地から学ぶ

議会運営委員会、総務教育・産業民生常任委員会は、次のとおり先進地を訪ね、視察研修を行いました。

令和4年10月19日（水）～10月21日（金） 熊本県小国町・大分県九重町

議会運営 委員会

地域に寄り添う防災の取り組みと持続可能な町づくり

熊本県小国町は、災害時に町内のどこにいても緊急速報が分かるようコミュニティFMやCATV・緊急速報メール、その他にも多くの手段を用いた情報発信を行い、集落・地域全体で協力し合って自主防災に取り組んでいる。また、「SDGs未来都市計画」を全国に先駆けて策定し、地域資源の活用による持続可能なまちづくりを進めている。



エフエム小国パンフレット

自律のまちづくりの取り組み状況

大分県九重町は、単独存続を選択し、「自律したまちづくり」を目指し、住民と協働で多世代型地域食堂や子育て支援等を実施している。九重“夢”大吊橋は、四季を通じて多くの観光客を呼び込んでいる。地熱発電施設等の豊富な自然資源を活かした取り組みも行っている。

👉 視察を終えて

小国町では、情報発信が町民の安心安全を守る重要な役割を担っていた。両町とも単独存続のために「人のつながり」「住民の協働」に重点を置き、地域資源を有効に活用したまちづくりが行われ、三朝町と共通する部分があった。

令和4年11月30日（水）～12月2日（金） 沖縄県国頭村

総務教育 常任委員会

世界自然遺産登録までの歩み

沖縄県国頭村を中心として、東村と大宜味村にまたがる「やんばるの森」は固有種や絶滅危惧種が多く生息し、「奇跡の森」と呼ばれている。2018年に世界自然遺産の登録延期勧告を受けたが、2021年7月に再挑戦して、世界自然遺産に登録された。国頭村を始めとする世界自然遺産の関係市町村、国や県の担当者、そして地元住民の連携が登録に繋がっている。



ヤンバルクイナ生態展示学習施設

👉 視察を終えて

世界自然遺産登録までの厳しい道のりと今後も維持し続ける責任の重さが伝わってきた。関係機関や地元住民との連携、それに向けた一人ひとりの意識もまた重要だと感じた。

令和4年10月4日（火）～10月6日（木） 茨城県大洗町・宮城県南三陸町

産業民生
常任委員会

地域資源と民間活力を活かした観光振興

茨城県大洗町は、サメの飼育種類数日本一の水族館「アクアワールド」や「神磯の鳥居」など多くの観光資源に恵まれた県内随一の観光地である。また、漁業協同組合直営の「かあちゃんのお店」やガールズ&パンツァーとコラボしたイベントなど民間活力を導入しており、令和2年から観光拠点施設「うみまちテラス」を事業展開している。

震災被害を受けた防災庁舎
(宮城県南三陸町)

震災の教訓を活かした新しい町づくり

宮城県南三陸町は、東日本大震災で壊滅的な被害を受けたため、インフラ整備と積極的な人口減少対策が必要となった。「なりわいの場所は様々でも、住まいは高台に」を基本姿勢に住宅造成や公共施設の高台への移転造成はほぼ完了し、主要産業である漁業の復興や「さんさん商店街」の本格オープンなど着実に復興が進んでいる。

視察を終えて

大洗町では、地域資源を活かしながら行政だけでなく民間活力を導入した観光振興の取組みが参考となった。また南三陸町では、大規模災害に直面した際の対応について大いに学ぶべき事柄があった。今後の町づくりに活かしていきたい。

令和4年度 議会懇談会

11月14日（月）にみささ村地域協議会において、下記の2つのことをテーマに議会懇談会を開催した。地域に出向き、9月定例会の決算審査の報告や住民の皆さんと意見交換を行いました。

◇人口減少の町の取組みについて

- 空き家や空き店舗の貸し借りのマッチング推進をNPOなどの組織で行うのはどうか。
- 空き家バンクの掲載内容の充実（間取りをいれるなど）をすべき。
- 旅館の従業員へ定住支援等の働きかけをしてはどうか。
- 移住者に対して、移住した後も継続してできる支援を考えてみては。

(議会回答)

- 空き家バンクはあるが、登録件数は数件のみに留まっている。町内には危険家屋等もあり中々管理が難しいのが現状。
- 意見があったことは町に伝えておく。

◇三朝地区内の町有施設の今後について

- ブランナルみささの指定管理者との契約が来年3月で切れるが、見通しはどうか。
- たまわりの湯前の広場や陣所の館はどうするか。住民が納得のいった形となるように、議会でも必要な際は町にブレーキをかけて欲しい。

(議会回答)

- 指定管理者とは前向きに検討している。
- たまわりの湯周辺は、開発提案を受けているが、町には議会にも随時報告をするように言っている。

※紙面の都合により一部抜粋して掲載。

総務教育常任委員会

世界大会出場選手のお祝いについて

問 エジプトで開催されるドッジボールワールドカップに、日本代表として出場する選手のお祝いの垂れ幕を作ってはどうか。町民にも分かりやすく、町全体で祝うということが大事ではないか。

答 予算等を体育協会と相談しながら、できる限りのことはしたい。



お祝いの垂れ幕（役場）

西学童クラブの施設について

問 西学童クラブが平日に三朝小学校を利用するのは、工事のため危険だからか。

答 中学校から西学童クラブまでの町道は、現在、工事車両が出入りしているため、通学路として利用しないようになっている。平日は三朝小学校の多目的教室を使用。長期休暇と土曜日は、保護者が送迎するので、今まで通りの施設を使用する。

コロナワクチン予防接種の状況について

問 新型コロナウイルスワクチン接種は、5回目になるがワクチン接種の状況はどうなっているか。

答 オミクロン株対応ワクチン接種は、現状では3割程度、予約の状況では6割程度になる見込み。60歳以上の接種は進んでいるが、若い年代は打たれない方が多くなっている。

ブランナールみささの指定管理について

問 ブランナールみささの指定管理は1年延長して今年度末までだが、どのような状況になっているか。譲渡の具体的な条件は。

答 協議は最終段階に入っている。価格と譲渡条件について調整中である。譲渡の条件としては、一定期間の事業継続と荒廃化させないこと等を条件として提案している。

産業民生常任委員会

企業版ふるさと納税について

問 基金条例を改正して企業からのふるさと納税の受入体制を整えるようであるが、どういう内容でメリットは何なのか。

答 この制度は令和6年度までの時限立法で企業側は寄付額の最大9割が税額控除を受けることができ社会貢献にもなる。町は寄付金をもとに温泉地の環境整備などに活用することができる。

温泉を活用した健康まちづくりについて

問 三朝温泉を活用して健康で自分らしく暮らすことができる町づくりに取組もうとしているが進捗状況はどうか。

答 基本構想の原案づくりに向けて健康・福祉分野に携わる者、公募委員等でワーキンググループ会議を実施した。今後、検討委員会を行いながら令和5年3月には基本構想を策定したい。



すーは一温泉

肥料価格高騰対策事業について

問 令和4年6月から令和5年2月に購入または購入が確実な肥料が対象となっているが、

例年2月頃のJA肥料予約も対象になるのか。

答 肥料価格高騰の影響を受ける農業者を支援するものであり、例年2月末頃のJAの肥料取りまとめを約1か月程度前倒しすると伺っている。この注文肥料も支援の対象になる。

ゼロカーボンシティみささ宣言について

問 積極的に宣言をすることは評価したいが、取組みに向けての具体的な計画はいつ頃を予定しているのか。

答 森林を多く保有する本町の役割として温室効果ガスの軽減とCO₂吸収量を伸ばすJクレジット制度の活用など今年度中に計画を策定していきたい。

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

一般質問

あなたの声を 町政に

5人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
8	1 集落と農地を守る取組みについて 2 恵まれた観光資源を活かす取組みについて	松原 成利
9	1 移住及び人口の増加について	能見 貞明
10	1 学校給食を通じた都市部自治体との連携について 2 陣所の館について	森 貴美子
11	1 コロナ後の持続可能な活性化策について	山口 博
12	1 町民意識調査の実施を 2 ラドン温泉で町民の健康増進を	吉村美穂子

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。
(10:00～、18:00～)

農業

問 集落と農地を守る取組み

答 関連機関・団体と共に振興したい

具体的で明確な指針を示すべき

松原

物資高騰で農業離れが心配されるが、耕作放棄の直接的な影響ばかりでなく、危険な野生動物に遭遇し被害を受ける事態も心配される。集落と農地を守る取組みについて、いつまでに何をすると具体的で明確な指針を示す必要がある。

町長

農業環境は厳しく方向性を示すのが難しいが、高収益作物への転換や土地利用も含め、効率化の方向は変わっていない。

農業委員会会長

集落座談会を実施しているが、収益面で農業に魅力が無くなっており、先が見通せない状況。

「人・農地プラン」での将来像や問題点は

松原

農地選択や土地利用、主導する人材不足や住民の皆さんの協力が不可欠等を聞いているが将来像や問題点は。

町長

どの集落も米価下落や鳥獣被害の他に、高齢化や後継者不足の不安があり方向性が難しいとの意見を認識している。

農業委員会会長

農地を次の世代につなぐことが大きな責務だが、お金より人材が探せず動かせない現実に課題ばかりで苦労している。

集落営農や担い手への集約推進は

松原

関係者の皆さんの思いは賛否様々であり、説明会や懇談会で良



松原 成利 議員

い点と悪い点を十分に理解していただき強力で推進するべき。

町長

若い人が減り、担い手が思うように増えない一方で、集落営農も各集落一律にはいかない事情があるが、農業振興の大きな鍵になると考えており、体制として農業委員会、JA、県の普及所とともに振興を図りたい。

農業委員会会長

担い手が不足し今の集積率20%維持が精一杯だが、最近増えたのは不在地主の利用権設定も状況を難しくしている。

観光

問 恵まれた観光資源を活かす取組み

答 経済が潤う創出につなげたい

三徳山と三朝温泉の利便性向上を

松原

「三朝町は観光資源に恵まれ羨ましい。」と聞くと、恵まれた観光資源・日本遺産を活かす取組みを進めるべき。観光のお客様と話すと便利な環境を望まれるように感じるが、まずはバリアフリー化と、これからの電気自動車での利便性向上は必要。

町長

観光ニーズにあった環境整備が重要との認識で日本遺産の地域活性化計画に沿って、公衆トイレ改修、急速充電設備、三徳山の新しい選拝所等進める一方で1300年守られてきた環境を後世に伝える取組みも重要。

長時間滞在できる場所や施設整備を

松原

歳入の大きな割合を占める観光



大型双眼鏡を備えた新しい選拝所

分野が賑わいを取り戻すことは重要であり、宿泊・日帰りに関わらず、癒し・遊び・買物ができる場所、三朝温泉の中には再開発すれば活用できる所があるように思う。

町長

今時点では思いを広げている状況で、これからの三朝温泉の活性化、地域づくりを含め取組んでいきたい。

移住

問 移住に対する政策の強化及び人口増の取り組み

答 ワーキンググループを総合計画の後期対策で動かしていきたい

人口対策の一環として移住があるのでは

能見

三朝町の人口は毎年100人の割合で減少している。人口減少を緩やかにする1つの対策として、移住者の受け入れがあるのではないか。

町長

本町の積極的な移住促進に向けて、鳥取市のような移住政策に力を入れておられる自治体を見習うべき活用材料としたい。

能見

移住者に対し、移住マニュアルや専門職員を置く等受け入れ体制の整備を行うべきではないか。

町長

移住マニュアルは、今後整備してみたい。専門職員として、本年11月に地域おこし協力隊員が1名着任した。隊員のミッションには、移住定住の促進を位置付けていて、移住者増加の追い風になればと考えている。



移住のためのガイドブック（鳥取市）

能見

鳥取市では、ウェブサイトを活用し、近年30代から40代の移住者が増えている。本町もウェブサイト等を活用し、移住者に対して積極的な情報発信をすべきではないか。

町長

町のホームページ内に移住定住情報を一元的に集約、整理したポータルサイトを設けている。サイトの内容の充実は大事だと思う。移住者の受け皿となる空き家バンクのストックを増やし、マッチングを推進していきたい。

能見

県の担当課は移住相談を充実し、定住しやすい環境づくりを市町村と連携していきたいと言っていたが、どう考えるか。

町長

県から情報をいただくなど連携を密にして、町としても取り組んでいきたい。

能見

三朝町に移住してきて、住み続けたいと思う町をつくらないといけないと思うが。

町長

移住先として選んでいただく条件は、補助制度や支援制度だけでは一概にはない。ただ、今の町の制度だけでなく、良いものがあつたらもう少し移住支援メニューとして入れ込んでいきたい。



能見 貞明 議員

ワーキンググループの立ち上げ

能見

3月の一般質問でワーキンググループを立ち上げて広く町民の意見を聞いてはと提案した。町長は人口対策、地域づくりといった会を作るため、まず集落の意識調査を進めると回答したが、その後どうなったのか。

町長

集落の方が関わりを持てる有効な形式を考えながら、検討していきたい。重要な問題なので、新年度には、ワーキンググループを総合計画の後期対策の計画見直しに併せて動かしていければと思う。

地域の方と交流を深める
(地域おこし協力隊員森田さん右)

教育

問 学校給食を通して都市部自治体との連携を

答 お互いに情報収集・情報交換を図っていく

オーガニック給食の成功例を取り入れては

森

オーガニック給食を成功させている自治体の成功例を学び、無農薬・減農薬の農作物を生産・提供に取り組んでみるのはどうか。

町長

オーガニック食材の生産者は町にはほとんどいないので、育てていく必要がある。学校給食の提供は、虫の混在などの下処理を限られた時間内で行うなど多くのハードルがある。学校給食に提供している食材は、可能な限り農薬を使わない方法の努力はされている。

森

7月に米子市で農薬についての

勉強会が開かれた。三朝町でも農薬について情報を提供することは大切だと思うが、どう考えるか。

町長

環境に優しい農薬、肥料は既にJAも組み替えをしてきている。町としても農事座談会等で農薬について研修できる場を作っていきたい。

学校給食を通して三朝町の発展に繋げるのは

森

三朝町が都市部の自治体に学校給食の食材提供することを通して、子どもたちの交流等関係性を築くことが三朝町の発展に繋がると思うがどうか。



森 貴美子 議員

町長

子どもたちの健全な育成、農家の方々の繋がりを深めていく給食づくりを目指したい。栽培環境や取り込まれる農家の体制をみると、高いハードルはある。学校給食を通して他の自治体と関係性を築くことは、未知の部分なので情報収集を行い、農業振興の一つの方策として検討したい。現在、交流している自治体とは情報交換を図っていく。

文化

問 陣所の館周辺は、今後どう変わるのか

答 地域の思い・保存会の思いも含めて方向性を出していく

国の重要無形民俗文化財・三朝のジンショ

森

「陣所の館」は現在休館している。民俗資料館としての存在意義を重視し、さらに魅力ある機能と建物の意匠等を工夫し、リニューアルも視野に入れながら再開すべきではないか。

町長

町では陣所の館運営委員会からの要望を受け、建物の耐震診断等の調査を行った。その結果、建物が現在の耐震基準を満たしていないことが課題となった。耐震補強には多額の費用が必要で、新しく施設を整備するには、建蔽率の関係で現在の7割の規模が限度などの問題がある。三朝のジンショは本町を代表する民俗行事であり、日本遺産構成文化財でもある。地域の思い・保存会の思いを尊重しながら、方向性を出していきたい。



陣所の館

観
光

問 アフターコロナの持続可能な三朝の活性化策を

答 チーム三朝として官民で取り組んでいく

これまでの多様な活性化策
提案の取り組み状況は

山口

これまでに色々な議員が多様な三朝の活性化策を提案してきたがその取り組み状況はどうなっているか。

町長

例えば提案の森林ウォークではウォーキング団体と一緒にって日本遺産ウォーキングとして2年続けており、実現可能な提案については何らかの形で事業に取り入れてきている。これはと言うものがあればどんどん提案していただきたい。

コロナ禍後の持続可能な活
性化策の検討チームを

山口

現在は多くの支援策に支えられて賑わいを見せているが、これらの支援策がなくなっても三朝に来てもらえる先を見据えた町独自の取り組みの検討が必要だ。

県では、ポストコロナの人流・物流活性化プロジェクトチームを立ち上げている。町でも遅れることなくプロジェクトチーム立ち上げを考える必要があるのでは。

町長

旅館をはじめとする事業者の皆さんは国の旅行支援策等の終了を見据えて、誘客の重要な要素である「おもてなし向上」に向けて様々な取り組みを展開しておられる。例えば、旅館・飲食店が客室や飲食スペースの付加価値を高めるリニューアルに取り組んでおられる。

町のプロジェクトチーム設置については、関係者の意識がまだ薄いようなので、県のやり方、考え方の方向を見ながら進めていきたい。

新規誘客イベントにグラウンド・
ゴルフや温泉芋煮会を活用しては

山口

永年三朝で開催されてきたエアロビックスのラジウムカップは今年を最後に他所に移るが、アフターコロナに向けてこれに代わる持続的なイベント等を官民一体で考える必要がある。



三朝温泉の風景



山口 博 議員

.....
例えば中部地区で盛んなグラウンド・ゴルフを利用したラジウムカップやみささ村が永年続けてきた温泉芋煮会などが今後観光資源になるのではないかと。

町長

温泉芋煮会も非常に良い形で続けてきていただいている。中断している賀茂の泥んこバレーについてもなくなったわけで無く、続けていきたい思いがあると思う。

イベントに取り組む際は競技団体や関係者の協力が必要であり、一緒になってやっていくことが大切である。

問 まちづくりの参考に町民意識調査の実施を

答 必要に応じ意識調査を行い検証していく

町民の生活実態、問題意識、施策の満足度を知るために町民意識調査を

吉村

令和5年は、第11次三朝町総合計画の前期5年の検証と点検となるため、町民の率直な意見を聞く意識調査をしてはどうか。

町長

総合計画は、町民が主体的にまちづくりに参画し、行政と協働して取り組むためにも町民意識調査は必要と思う。

吉村

地域の課題、魅力を考え、すみ続けたい町になるため、地域、集落ごとに、世代間交流、異年齢交流での未来に向けてのワークショップをしてはどうか。

町長

ワークショップは、多くの町民に関わりを持って貰う手法として、有効な形式だと思う。様々な意見を汲みやすい形での検討、工夫をしていく。地域協議会などの協力も得ながら、実効性のある計画づくりを進めていく。

吉村

集落の現状を知ってもらうため、町長が集落に出向いての座談会を開催するのはどうか。

町長

新年度に向けて呼びかけをし、出かけて行く気持ちはある。



吉村美穂子 議員



町民との関わりを

問 ラドン温泉で町民の健康増進を

答 健康づくりの一環としてラドン温泉を活用する構想を進めていく

町民が安価で利用できるラドン温泉を

吉村

町民限定で入浴券を割引販売し、利用した分は町が負担してはどうか。

町長

旅館、ホテルは、宿泊客、旅行者をもてなすということが第一で、繁忙期における体制上の課題があり、受け入れ体制などにも無理がある。

吉村

たまわりの湯が、今年度で閉館するという事もあり、日常的に町民が利用できる温泉施設が必要ではないか。

町長

町民が、温泉の恵みを楽しむことができる新しい温泉施設を整備する時期だと思う。2期目の公約に掲げた温泉を活用した健康まちづくり事業の中で、財源を探しながら具体化しようと考えている。

吉村

最短で2026年には、温泉文化が、ユネスコに無形文化遺産登録を目指す動きがある。三朝ラドン温泉を町内外にPRしていったい欲しい。



令和5年3月で閉館のたまわりの湯

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果
		森貴美子	小椋泰志	河村明浩	吉村美穂子	松原成利	松原茂隆	能見貞明	石田恭二	山口博	藤井克孝	遠藤勝太郎	
(9月臨時会)													
町長提出議案名													
71	令和4年度三朝町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
72	工事請負契約の締結について（三朝町立三朝小学校新築工事（教室棟））	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
73	工事請負契約の締結について（三朝町立三朝小学校新築工事（管理棟・昇降口棟））	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
74	工事請負契約の締結について（三朝町立三朝小学校新築工事（電気設備））	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
75	工事請負契約の締結について（三朝町立三朝小学校新築工事（空調設備））	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
76	工事請負契約の締結について（三朝町立三朝小学校新築工事（衛生設備））	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
77	工事請負契約の締結について（三朝町立三朝小学校新築工事（プール棟））	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
(12月定例会)													
町長提出議案名													
78	令和4年度三朝町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
79	令和4年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
80	令和4年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
81	令和4年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
82	令和4年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
83	令和4年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
84	令和4年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
85	令和4年度三朝町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
86	三朝町景観条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
87	三朝町簡易水道事業等の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
88	職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
89	三朝町町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
90	三朝町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
91	三朝町基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
92	温泉資源活用施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
93	三朝町多目的展示施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
94	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（三朝町住民ネットワーク光化事業旧設備撤去工事）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
95	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
96	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	同意

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。
 ※吉田道明議長を除く11名の賛否状況です。

新年を迎えて思う三朝町へ

私の兄は県外の高校に進学しました。兄は1年に1度だけ、お正月に帰省します。その時に、普段、県外にいるからこそ感じる三朝町の良さを兄は私へ話してくれました。

その中でも1番強く兄が言っていたことは、「地域の人があたたかい」ということでした。私はそのことを聞き、今までに地域の方が私たちにくださった行動をもう1度振り返ってみました。すると、挨拶をしたらどんな作業をされていても、いつも明るく挨拶を返してくださることが思い浮かびました。それに、あまり話したことの無い方でも、バス停などであった時には「今日は寒いね」や「〇〇

はもう終わった？」などと声をかけてくださいました。このようなことをきっかけに、私はあらためて三朝町について振り返ってみると、良いところがたくさんあることに気づきました。

私は、いつまでも兄の言うように地域の人に支えられ、つながっていられるような三朝町であれば嬉しいと感じました。この三朝町を私も大切に守っていきたいです。



三朝中学校2年
吉田 美桜

議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは議会事務局（電話43-3511）にお問い合わせください。

3月定例会の日程予定（案）

会期 3月6日～3月20日
（15日間）

※日程は変更になる場合があります。
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

- ・町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

- ・町議会のしくみや議会日程、議員紹介など、さまざまな情報を掲載しています。
- ・議会だよりのバックナンバーも閲覧することができます。

発行責任者
議長 吉田 道明
編集
議会広報常任委員会
委員長 小椋 泰志
副委員長 森 貴美子
委員 松原 茂隆
委員 吉村 美穂子
委員 河村 明浩

（小椋 泰志 記）
今年こそ「三朝温泉や三徳山に観光客が溢れ、農林商工業も活気づく」そんな飛躍し成長する町を実現すべく、議会や町が一体となって取組んでいく年にしたいものだ。

例年、元旦には地元元の神社に初詣し新しい一年の幸せを祈願している。昨年は、ウクライナでの戦争に始まり、コロナが収束のきざしを見せない中、物価高騰が始まるなど人々の活動が停滞することが多かった。
令和5年は卯年である。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」、その跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれてきた。他にも新しいことに挑戦するのに最適な年と言われている。

